



会報

DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



ほたる狩り

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会長 上野三郎
幹事 佐藤順治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 918 号

1977. 8. 2 (火) (はれ)

No.5

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 君が代斉唱
3. ロータリーソング (奉仕の理想)
4. ビジター・ゲスト紹介
5. 会員及び奥様誕生祝
6. 年間皆出席表彰
7. 会長報告
8. 幹事報告
9. ゲストスピーチ 菅実秀と新徴組 ~ 小山松勝一郎氏
10. スマイル ~ 丹下誠四郎君
11. 出席報告 ~ 石川寿男君

■ ビジター・ゲスト紹介

佐藤孝二郎君(農業) 余目R.C
斎藤吉雄君(管材販売)
菅原年雄君(建設) } 鶴岡西R.C
佐藤成生君(金物配布)
足達一見君(能率業務)

■ 会員及び奥様誕生祝

<会員誕生>

安藤定助君 早坂源四郎君 三井徹君 三井賢二君

<奥様誕生>

風間慶子様 三井章(健)様 佐藤奈津子(伊和治)様 吉野英子様 手塚峰子様

■ 年間皆出席表彰

<<年間皆出席>>

2年間皆出席 皆川英二君

1年間皆出席 石井敬三君

<7月150%出席> 3名

阿部(公)君、佐藤(順)君、上野君

<7月125%出席> 6名

早坂(源)君、石黒君、石川君、市川君、三井(徹)君、新穂君

<7月100%出席> 43名

皆川君、阿部(襄)君、安藤君、張君、半田君、飯白君、石井君、五十嵐(三)君、板垣(俊)君、海東君、玉城君、風間君、黒谷君、高橋(耕)君、小松君、嶺岸君、三井(賢)君、三井(健)君、三浦君、森田君、角田君、中江君、中野(重)君、中野(清)君、小野寺君、西海君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、鷺田君、内山君、丹下君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、高橋(正)君、高橋(良)君、迎田君、山口君、谷口君、手塚君、富樫君、菅原(辰)君、中村君、吉野君、金沢君、佐藤(元)君、小池君

■ 会長報告

1. 本日の理事会においての協議決定事項

(イ) 公式訪問について遺漏のないよう準備すること。

日 程

8月22日(月) PM 3:00～4:00 会長・幹事との懇談会 山王閣
PM 4:00～6:00 第2回クラブ協議会 住よし
PM 6:00～ 懇親会登録料 ¥2,500 住よし

8月23日(火) PM12:30～1:30 例会訪問

クラブ協議会に各委員長は義務出席

活動計画の実施状況と実施予定について予め勉強されたい。

委員長欠席のときは必ず代理出席のこと。

委員長以外の参加歓迎。

- (㊦) 会員増強に努めること。
知り合いの適格予定者をどしどしご推せんください。
 - (㊧) 台中港区東ライオンズクラブと鶴陵ライオンズクラブとが今回姉妹クラブ盟約締結するについて、台中港区東ライオンズクラブ会長宛に当クラブ会長名で祝賀メッセージを贈ること。
 - (㊨) 湯田川にある重度身体障害者授産施設鶴峰園に運動用具代として¥30,000寄贈すること。
 - (㊩) 9月17日開催される田川地区中学校、高等学校、英語弁論大会に例年の通りトロフィーと賞状を贈ること。
2. D533 I.C チーム12名 7月27日～31日 当地滞在中のところ無事次の訪問地山形へ向かわれた。ホームステイされたみなさんはじめ 中江 I.C 委員長など関係の皆様大変有難うございました。

■ 幹事報告

1. 例会時間変更

(1) 山形南 R.C

来る8月9日(火)の当クラブ例会は、納涼家族会開催のため下記の通り変更

と き 8月9日(火) PM6:00
と ころ 山交ビル7F ビアガーデン

(2) 寒河江 R.C

来る8月4日の例会は社会奉仕委員会ホールラム及び交換学生(ギャーリー)の誕生パーティーのため下記の通り変更

と き 8月4日 PM5:30
と ころ 伊勢屋旅館会議室

2. 会報到着

(1) 酒田 R.C (2) 酒田東 R.C (3) 八戸東 R.C

3. 第253地区年次大会仮申込の件 出席予定者氏名記入

4. 公式名簿購入申込の件(全部英語のもの)

必要な方は事務局迄申し込んで下さい。

■ ゲストスピーチ

<菅 実秀と新徴組>

小山松勝一郎氏

私の苗字は珍しいですが、もともと庄内藩下級武士の家で、菩提寺は大山の禅竜寺であります。菅実秀は明治維新における西郷隆盛と関係をもった人となっております。清川八郎の尊王攘夷の策は、度々失敗したが、文久2年幕府の力を利用し、浪士を集め、浪士組を結成し浪士の勝手な振舞をとり押えた。八郎は、我々の意志は尊王攘夷にある事を発表した、この説に反対する近藤勇等13人は新選組を結成した。浪士組は、江戸警護のため、京都を出生し本所三笠町の浪人居敷に入ったが、八郎は幕府に刺客され幹部は、暗殺。幕府はこれを骨抜きにし、庄内藩に委任して新徴組と改名させ、これが新徴組の誕生である。

文久3年、庄内藩初め13藩は、幕府に江戸市警備を命ぜられたが、庄内藩は、この重要任務を長くする経済力がなかった。藩主は酒井忠篤公(12才)であ

ったが、隠居の忠発公を中心に、御前会議が開かれ、時に近習の菅実秀（当時32才）の強力な進言により、江戸取締りが始まった。新徴組は藩士に協力し、自然江戸取締りの第一線に立った。菅実秀は、新徴組を動かす実力者となり、庄内藩は強力な新徴組をもっている故、取締りは全部、庄内藩にまかされた。

慶応元年、大江戸幕末の治安は新徴組の手で保たれた。慶応4年、幕閣の任免があり、それ以来、庄内藩江戸市中取締りが止めさせられた。庄内藩は、これ以上江戸に留まることは危険であると判断し、これに新徴組も、庄内に引き上げる事となった。新徴組は総計447人であり、湯田川に分宿した。この時、庄内藩追討命があり、官軍と戦を交え大奮戦したが、結局庄内藩降伏で幕を閉じた。明治に入り、諸制度の改革が行われ、庄内藩は17万石が12万石に削られた。新徴組標準給与は26両4人扶持で、生活は苦しかった。そこで、湯田川の生活を打ち切り、東京へ出ようとする者があった。明治3年酒井忠篤公は、親書を西郷隆盛に送り交誼を求めた。実秀は、西郷隆盛の改革を読み、庄内藩の進むべき道は、西郷に従って立つ事であると決心し、西郷が、近く政府改革のりだす時のため、庄内藩は兵制をととのえ、土族隊、足軽組、新徴組、計1,350人を常備兵としてたくわえていた。

庄内入りした新徴組は、相当の学問すぐれた識見をもった人が居り、この人達が東京へ出たいのです。もう一つは、庄内藩にどこまでも忠誠を誓う組もあった。実秀は、西郷の決起を期待しているから、もっとも警戒したのは、新徴組が東京に出て、庄内藩が兵制を整えていると中央政府に密告されるのを恐れた。その様な事を阻止するため、県下不毛の土地を開拓させ、力耕の業につかせる策をとり、開墾事業を始める事を発表した。しかし新徴組の有志は、大脱走を心みだが、失敗に終わった。新徴組64人は、後田山開墾1万坪を与えられた。後田山160町の開墾成功、これにより新徴組を庄内藩の士分として取扱う旨を達したが、これに不満を持つ人達もあった。開墾事業がひとまず終わったが、新徴組は、庄内に来て6度目の冬を迎えたが、屋敷は空屋が日立った。この様な事で前途は不安であったので、26名は東京へ脱走を企て成功した。明治14年松ヶ岡社員名簿457人のうち、新徴組の留まる人数は11人となって居りました。

スマイル

丹下 誠四郎 君

富 樫 良 吉 君 余目公民館、立川公民館—工事契約

出席報告

本日の出席	会 員 数	70名	欠	黒谷君、石倉君、小池君、三浦君、斎藤(得)君、板垣(広)君、鷺田君、菅君、藪田君、佐藤(元)君
	出 席 数	60名	席	
	出 席 率	85.71%	者	

前回の出席	前回出席率	82.86%	メア	早坂(源)君—酒田東R.C 笹原君—仙台R.C 石井君、黒谷君、中野(重)君、菅原(辰)君、金沢君—鶴岡西R.C
	修正出席数	65名	1ッ	
	確定出席率	92.86%	クラブ	